

令和6（2024）年人口動態統計〔合計特殊出生率〕について

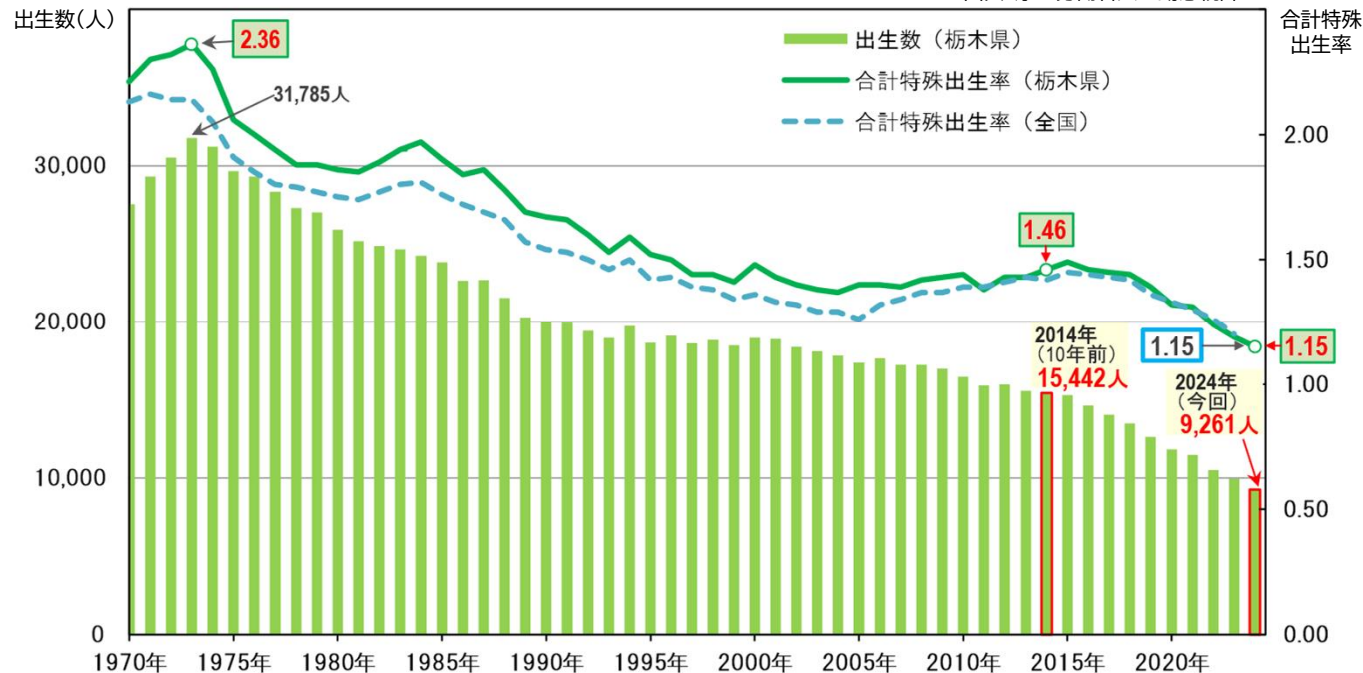
資料 1

○本県の出生数は1973年以降減少を続け、2024年には**9,261人**となり、2年連続で1万人を割り込んだ。

○2024年の合計特殊出生率は、**5年連続で過去最低を更新**し、全国平均と同値の**1.15**となった。

図1.出生数(栃木県)及び合計特殊出生率(栃木県・全国)の推移

出典:厚生労働省人口動態統計

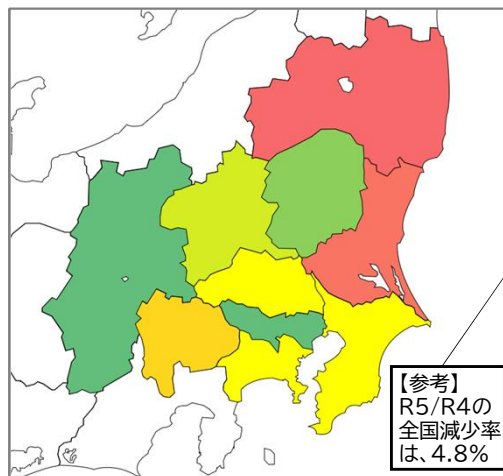


合計特殊出生率全国順位

順位	都道府県	合計
1	沖縄	1.54
2	福井	1.46
3	鳥取	1.43
3	島根	1.43
3	宮崎	1.43
29	群馬	1.20
33	茨城	1.16
34	栃木	1.15
44	秋田	1.04
45	北海道	1.01
46	宮城	1.00
47	東京	0.96

図2.近県等の合計特殊出生率の減少率と全国順位 ※R6(2024)/R5(2023)比較

出典:厚生労働省人口動態統計



全国順位 (減少率の低い順)	減少率	R6合計	R5合計	R6-R5
長野	10 3.0%	1.30	1.34	▲ 0.04
東京	12 3.0%	0.96	0.99	▲ 0.03
栃木	15 3.4%	1.15	1.19	▲ 0.04
群馬	21 4.0%	1.20	1.25	▲ 0.05
全国	— 4.2%	1.15	1.20	▲ 0.05
埼玉	26 4.4%	1.09	1.14	▲ 0.05
千葉	26 4.4%	1.09	1.14	▲ 0.05
神奈川	28 4.4%	1.08	1.13	▲ 0.05
山梨	30 4.5%	1.26	1.32	▲ 0.06
茨城	34 4.9%	1.16	1.22	▲ 0.06
福島	35 5.0%	1.15	1.21	▲ 0.06

【参考】
R5/R4の
全国減少率
は、4.8%

出典:厚生労働省人口動態統計(2024)

R6合計特殊出生率の前年比較減少率は、全国平均4.2%に対し、本県は3.4%(15位)となり、前回(4.0%、18位)よりやや改善。

一方、本県の合計特殊出生率(1.15)・出生数(9,261人)は、ともに過去最低を更新するなど、依然として厳しい状況が続いている。

【参考】合計特殊出生率分析（栃木県5歳階級別出生率・推移）

